

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院第2内科、和歌山画像診断センターに膵癌で通院歴のある、または腹部造影CTを撮影したことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第二講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

膵癌の発生を予測するCT所見に関する膵 volumetry を用いた後ろ向き研究 (volumetry とは、CT から膵の体積や長さなどを算出する方法のことです)

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学内科学第二講座 教授 北野雅之

3. 研究の目的

膵発癌のリスクとなる膵実質のCT所見がどのようなものか検討すること

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

膵癌の患者さんで、2011年4月から2019年4月までの期間中に、和歌山画像診断センターで腹部造影CTを撮影した方。また、2009年7月から2017年9月の期間に和歌山画像診断センターで膵疾患以外の精査目的に腹部造影CTを撮影した方の一部。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、身長、体重、CTの撮影条件、CT機種、過去画像検査日、膵癌画像診断日、原疾患名、フォローアップ期間、膵癌の部位、膵嚢胞性病変の有無、膵全体の volume、膵管+嚢胞成分の volume、膵実質のみの volume、膵実質の最大断面積、膵実質の最小断面積、断面積比(最小断面積/最大断面積)、主膵管長、主膵管径(最大径)に関する情報です。

(3) 方法

膵実質の volume などの上記 4. (2) の各因子と膵発癌との関連性を網羅的に解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できないように匿名化を行います。ご自身が対象となっているかお知りになりたい場合にはお問い合わせください。また、研究成果は学会や学雑誌で発表されることがありますがその際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学内科学第二講座 担当医師 川路祐輝

Tel: 073-447-2300(内線: 5217) Fax: 073-445-3616

E-mail: y-kawaji@wakayama-med.ac.jp